

平成 27 年度第 3 回浦安市学校給食センター運営委員会の開催報告

- 1 開催日時 平成 28 年 2 月 18 日（木曜日）午前 11 時～午後 1 時
- 2 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター 2 階会議室
- 3 出席者等
 - (1) 出席者（委員） 加藤会長、山高副会長、下田委員、岸本委員、坂本委員、高野委員、竹田委員、大前委員、渡邊委員、新矢委員、米澤委員、田邊委員 11 名
（事務局）鈴木教育総務部長、佐久間教育総務部次長、佐藤教育総務次長、柴田保健体育安全課長
第一・第二調理場 長島所長、板倉副主幹、宇田川副主査、柳沢栄養士
宇都木栄養士
第三調理場 宮崎副主幹、林田栄養士、吉田栄養士
 - (2) 欠席 4 名
 - (3) 傍聴人 無
- 4 議 題
 - (1) 第三調理場施設紹介用DVD鑑賞
 - (2) 平成 27 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 1 月）の検査結果
 - (3) 平成 27 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 1 月）の報告
 - (4) 平成 27 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて
 - (5) 平成 28 年度浦安市学校給食センター運営計画について
 - (6) 中学校用給食の喫食
 - (7) その他
- 5 会議経過

教育総務部長の挨拶の後、議事に入った。概要は次のとおり。

 - (1) 第三調理場施設紹介用DVD鑑賞を行った。
委員からの質疑は特になし。
 - (2) 平成 27 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 1 月）の検査結果について事務局より説明をした。
委員からの質疑は特になし。
 - (3) 平成 27 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 1 月）の報告について事務局より説明をした。
委員からの意見は次のとおり。

（委員） この資料の作り方について、第二回運営委員会では 4 月から 10 月までの異物混入の報告で説明しており、今回の運営委員会での報告は 4 月から 1 月までとなっている。
4 月から 10 月までは重複しているので、11 月から 1 月分に発生した異物混入に限定した報告が良いと思うが。

（事務局） そのように対応する。

 - (4) 平成 27 年度食育に関する学校給食センターの取組みについて事務局より説明をした。

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 食育に関する授業支援については、どの教科で行っているのか。

(事務局) 家庭科と特別活動で実施している。

(委員) 残菜について給食センターでは食べやすく工夫しているが、どのような理由で残っているのか、例えば「食べる時間が少ないのか」、「給食の配膳時間が足りないのか」、「好みだけで食べているのか」どのように判断しているのか。

(事務局) 小学校低学年を見学すると、もう少し時間があれば食べられるのかなと思う。小学校の高学年・中学校では、学校訪問によって給食センター職員や調理員の視察する日は、各クラスの残菜が少なくなっており、今後も学校訪問を強化していく。

(意見) 給食時間を増やすことは難しいと思うが、学校現場ではいかがでしょうか。

(委員) 小学校では、入学した4月、5月は給食の準備に時間がかかるが、年間を通じ担任の指導によって年度末には、給食準備時間が早まる。

職員会議でも給食時間がもっとあったほうが良いと意見もあるが、授業時間がきまっているので難しい。

本校の場合、給食委員会で給食残滓について、年間どのくらいの量を食べ残すか表にして掲示しており、二学期では給食残滓量が減ってきている。

(委員) 中学校の場合、給食喫食時間が12時55分からで、前半で時間を確保すると登校時間を早めなければならず、後半では部活時間を確保するため短縮しなければならない。準備を早くして、食べる時間を確保している状況である。

(5) 平成28年度浦安市学校給食センター運営計画について事務局より説明をした。

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 平成28年の給食回数が186回の提供予定となっており、二学期については、9月5日から給食開始であるが、希望としては始業式の翌日から授業を行いたいと思っており、給食開始日をできれば1日早める事は可能なのか。

(事務局) 給食センターでは年間を通じ食材費の配分を計画的に行っているため、早めに相談していただければと思う。

(事務局) 校長会での要望をまとめていただき、早い段階で調整していきたい。

(委員) 新年度から牛乳がパックになるが、持ち帰っても良いのか。

(事務局) 給食センターでは牛乳に限らず、給食で提供している食材は、持ち帰れないこととしている。

(委員) その旨の連絡は給食センターから保護者宛に通知してくれるのか。

(事務局) 牛乳容器についての通知は4月に予定をしているが、持ち帰りしないでくださいとの文言は入れるかは検討したい。

(意見) 保護者に伝わるようにしてほしい。

(事務局) 学校給食は温度管理ができていないと、衛生的に問題を生じるので、通知内容を検討していく。

(意見) 食育に関しての授業について、今は栄養素や栄養バランスを取ることが中心となっているが、栄養のバランスを取るには食材をどのように手に入れるのか、地産地消の観

点から、どうして地元の食材を使用するのかについても、教えることも大事と考える。
(事務局) 給食センターの栄養士によって地産地消にも触れている。

(委員) 子供達の給食喫食時間が少ないことについて危惧している。日々検診を行っているが、30代後半から血糖値が高い人は朝食が習慣となっており、給食喫食時間が少ない、朝食の原因はここにあるのかと思った。

配膳に時間がかかる状況もわかりますが、食事はゆっくり食べる習慣にしてほしい。
(事務局) 学校と相談し、少しでも給食の喫食時間を多くして、楽しんで食事ができればと思います。

(6) 中学校用給食の喫食。

(7) その他

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 食育支援について、授業を行っている学校に偏りがあるが。

(事務局) 今回の資料は給食センターで実施している実績であり、今後については、他の課で実施しているものも含め、教育委員会全体での授業の支援実績を掲載していきたい。

以上